

## 基本方針・前提条件

A	B	C	D	E	F	内容
基本方針・前提条件						
						平成20年度に導入した静岡県立総合病院の医用動画情報統合管理システムの更新を、以下の基本方針に基づき行う。
システムに関すること						
						安全性、利便性、費用のバランスを考慮したシステムの全体最適化。
						高度な医療と医療の安全を実現するための快適な応答速度と操作性、必要十分な機能の整備。
						安定かつ保守・更新が容易で、カスタマイズが可能なシステムの実現。
						増大する医用動画像データに対応した長期的なデータ保全の確保。
						拡大する医療情報システムにかかる医療資源の適正配分とその運用整備。
運用に関すること						
						電子カルテシステムを中心とした業務フローの全体最適化を考慮した部門システムによる業務フローの部門最適化の実現。
						既存業務フローの正当性の検証と改善。
前提条件						
病院の概要						
総合医療情報システムの更新						
						当院では平成28年1月に総合医療情報システム（電子カルテを中心とした関連システム）の更新と新規導入を予定している。
						平成28年1月の総合医療情報システムの更新までの期間、既存システム運用環境下においても、既存の医療画像情報統合管理システムと同等以上の機能を実現すること。
手術棟の新設について						
						手術、放射線治療を中心とした新棟を平成28年度末に新設予定であり、端末増加やソフトウェアライセンスの追加、接続機器の増加の可能性がある。
						平成27年5月の連休期間（ゴールデンウィーク）に西館3階サーバ室から機構本部横に新設されるプレハブタイプのサーバ室への移転を予定している。
						サーバ室の移転に合わせてネットワーク機器の更新を予定している。
						新棟内に新規のサーバ室を設置予定で、将来的にシステム更新のタイミングに合わせて、G棟2階にある医用動画情報統合管理システムサーバ室の移転を予定している。
臨床研究について						
						当院では院内に臨床研究センターを設立し、医療職員が働きながら質の高い研究ができる環境を整備する。
調達範囲						
医用動画情報統合管理システム						
						医用動画像管理システム（動画 PACS）
						循環器画像診断統合管理システム（循環器レポート）
調達に含まない関係システム						
既存の総合医療情報システム（HIS）						
						電子カルテシステム（電子カルテ）
						地域連携システム（ふじのくにねっと）
						統計情報管理システム（DWH）
既存の医用画像関連システム						
						既存の医用画像関連システムは平成26年2月の運用開始を目指し、システム更新を予定している。
						放射線部門システム（既存RIS） インフォコム株式会社（旧AJS社） Dr. View
						既存RISは、新しい統合医療情報システム稼動（平成28年1月）まで再リースにより延長利用する。

## 基本方針・前提条件

基本方針・前提条件	
	PET部門情報システム (PET RIS) 富士フィルムメディカル株式会社 F-RIS
	2D PACS 富士フィルムメディカル SYNAPSE
	既存医用動画像管理システム (動画PACS) GEヘルスケア・ジャパン株式会社 Centricity PACS, Centricity
	循環器画像診断統合管理システム (循環器レポート) GEヘルスケア・ジャパン株式会社 Carorogy Xi2, Centricity CDS
更新予定の循環器関連システム	
	医用動画情報統合管理システムと平行して以下のシステムの更新を予定している。
	ICU・CCU重症経過表システム
	心電図システム
更新予定の総合医療情報システム	
	総合医療情報システムは下記の企業製品を導入候補として検討している。
想定しているシステム提案企業	
	株式会社ソフトウェア・サービス
	富士通株式会社
	日本アイ・ビー・エム株式会社
	日本電気株式会社
	東芝医療情報システム株式会社
想定している医用動画情報統合管理システムに関するシステム	
	電子カルテシステム (電子カルテ)
	地域連携システム (ふじのくにねっと)
	統計情報管理システム (DWH)
	患者ポータルシステム (患者ポータル)
費用に関すること	
	医用動画情報統合管理システム 医用画像情報統合管理システムの調達と構築について本契約に含むこと。
電源工事費用	
	電源工事が必要な場合は本契約に含むこと。
空調工事費用	
	原則として既存設備を使用すること。ただし、熱容量が空調設備の対応可能な容量を超える場合は、病院と協議のうえ、追加の空調を用意し本契約に含むこと。
サーバラック設置費用	
	必要な場合は架台、サーバラックの設置費用は本契約に含むこと。ただし、既設の設備を利用する場合は契約前に病院と確認の上、利用すること。
ネットワーク構築費用	
	サーバからクライアントまでのネットワーク構築費用は本契約に含むこと。ただし、既設のネットワークを利用できる場合は契約前に病院と確認の上、利用すること。
	リモートメンテナンス用の回線工事費用は本契約に含むこと。
接続費用	
	本システム稼働後、病院内でのモダリティ等の新規または更新により接続変更等が発生する場合、医用動画情報統合管理システムで発生する接続に必要な費用は、通常保守の中を含むか、1モダリティ当たりの定額制とすること。定額制の場合、資格審査書類の提出に合わせ、病院側に、額を提示すること。

## 基本方針・前提条件

基本方針・前提条件	
	今回の更新に伴う、院内の各モダリティやシステムとの接続に要する費用は、相手側に必要な費用を含め、本契約の総額に含めること。ただし、平成28年1月稼働予定の新しい統合医療情報システムの接続費用については、本システム側の発生費用のみを含めるものとし、新しい統合医療情報システム側の対応費用は含めないものとする。新しい統合医療情報システム側の発生費用は、新しい統合医療情報システムベンダーの開発費用に含めるものとする。
	新しい統合医療情報システムとの接続については、選定される対象製品が未確定のため、電文を受信しシステム内で処理する機能、公開されたデータベースを参照しデータを取得しシステム内で処理する機能、電文を送信する機能、公開が必要なデータベースを公開する機能を開発するまでを本契約の費用に含むこと。
データ移行費用	
	データ移行に要する費用は本契約に含むこと。
	データ移行に際して並行稼働期間に必要な設備と機器の費用は本契約に含むこと。
	データ移行の完了後に並行稼働期間に使用した設備と機器の撤去費用は本契約に含むこと。
	データ移行の完了後にサーバ機器等の移設に必要な費用は本契約に含むこと。
既存システムの撤去費用	
	サーバおよびクライアントの撤去費用、撤去された機器のデータ消去費用を本契約に含むこと。
既存HIS環境構築費用	
	既存HIS環境下で現状の運用以上を継続して維持するために必要な費用は本契約に含むこと。
次期HIS環境構築費用	
	次期HIS環境下での運用を実現するために必要なサーバおよびクライアント等の設定作業等に係る費用は本契約に含むこと。
保守費用	
	OS等の基本ソフトおよびハードウェアの保守およびシステムの保守（リモートメンテナンスを含む）費用は、導入後1年間は無償とすること。
検収	
	仕様書の機能、装置はすべて当施設が指示した日までに稼働状態にあるよう整備、点検、事前試験は終了しておくこと。